

【座談会の参加者募集】 いったい日本は大国なのか？小国なのか？

技術者・技能者の視点で日本の未来戦略を展望してみよう

かつて石橋湛山らは全体主義と軍国化で大陸利権にひた走る第一次世界大戦直前の日本において敢然と「コストのかかる植民地の権益を捨て、自由主義と個人主義に基づく産業主義を選択する方が有益だ」とする冷徹なまでの現実主義路線を主張しました。

100年後の現在、おりしも集団的自衛権、国防軍等が議論される今、あらためて現実主義を旨とする技術者・技能者の視点で技術先進国日本の進む道を一緒に考えたいと思います。

次世代に国際的安定と経済的利益を残す現実的な技術・技能の戦略とはなにか？これから社会に出る若い技術者・技能者の卵から、企業・官庁OBの専門家等まで、幅広いご参加をお待ちします。

前衆議院議員 平 智之

■日 時：平成26年 **5月7日(水)** 午後**7時~9時**

■場 所：都内会議室（追ってご連絡します）

■参加費：1,000円

■形 式：8名以下の討論会（映像で公開、プライバシー保護のご希望に応じます）

■課 題：テーマ1 食糧小国日本がいかにして「食の安全」を確保するか
テーマ2 成長する諸国（中、印、アフリカ等）と共生する日本の技術戦略とは
テーマ3 戦争を起こさないために技術者・技能者ができること など
注）議論の流れでテーマが変わることもあります

■対 象：各テーマに関する知識・経験を有する技術者・技能者
各テーマに大きな関心を有する方

座談会参加のお申込み

info@t-taira.net 宛てに「座談会参加希望」のメールをお願いします

- 注1) ご専門の技術・技能等に関する**簡単な Profile**をお知らせください
- 注2) 技術者・技能者以外の方は、**ご専門の領域又はご関心の内容**をお知らせください
- 注3) 万一人数が多くなる場合にはご参加いただけない場合があります